

高知県商工団体連合会 NO.1192(57-44)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.jp

このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

対象業者比10%読者回復し全商連総会に参加

■2026年 全商連総会めざす仲間増やし(4/1~)

5/24 現在	拡 大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	4	0	0	0	0	3
香美郡	27	0	1	0	0	14
南国	17	0	2	0	0	6
高知	6	2	2	1	0	7
仁淀川	3	0	0	0	0	2
須崎	2	0	0	0	0	1
中村	5	0	0	0	0	3
計	64	2	5	1	0	36

成果会員：読者が会員を拡大した会員(紹介含む)

**山崎副会長が
全体会で発言・報告**

1日目の全体会で山崎龍太郎副会長(香美郡民商会長)が、10%回復したこと、香美郡民商が前回総会時読者現勢を突破したこと、高知県でなぜ「市民と野党の共同」がすすんでいるのかについて

昨年4月に対象業者比読者10%を割り込み、秋の運動と春の運動で回復をめざしましたが達成できませんでした。4月も増16、減30で大きく後退しました。「今度こそ回復達成して全商連総会を迎えよう」と県連理事会でも確認。

5月に入り香美郡民商が統一行動などで24人、南国民商が婦人部員を中心に9人など、全民商が成果を上げ、計46人の拡大で回復達成しました。



前左、船口、中村 後左、山崎、上岡



右から入江、村田、中村 (近藤さん撮影)

報告しました。高知からの参加者8名

高知県からは、東谷勝喜県連会長(高知)、山崎龍太郎県連副会長(香美郡民商会長)、入江博孝県連事務局長(高知)、村田敦子県連理事(南国民商副会長)、中村秀子県連常任理事(高知)、県婦協会長(上岡孝雄県連常任理事(仁淀川民商会長)、船口千代松県連常任理事(中村民商会長)が代議員で、近藤恵子県連理事(安芸民商婦人部長)が評議員で参加しました。

*詳細は商工新聞をお読みください。



中央が山崎会長 他の受賞者と

2日目は、23の分散会に分かれて討議。ホルムズ海峡封鎖の影響など、業者を取り巻く状況、高市政治についてなどの情勢、民商や婦人部、共済会の取り組みなどを交流し、全商連総会方針を深めあいました。

香美郡民商が、読者の部で「総会増勢表彰」「対象業者比表彰」を受けました。



ジャズライブ

1日目全体会の最後は、5月25日商工新聞最終面「一期一会」で紹介された、須磨民商・荒畑佐千子さんのメンバーによるジャズライブで盛り上がりしました。

総会全体会での山崎龍太郎副会長の発言 ①

高知県連副会長、香美郡民商会長の山崎龍太郎です。

市民と野党の共同による政治転換の展望と組織拡大の推進の2点について発言いたします。

高知県では2010年、陸上自衛隊第50普通科連隊の高知移住を機に連合系の平和運動センターと平和委員会が中心となって、郷土の軍事化に反対する高知県連絡会を結成しました。その後2012年4月に、福島原発事故を受け、原発をなくし自然エネルギーを推進する高知県民連絡会を市民運動団体も含めたオール高知型の組織として立ち上げた経過があります。これらの活動、成果を踏まえて憲法の危機に対し、96条改悪反対のアピールを出し憲法懇談会をスタート、2015年5月に戦争法案が提出される事態を受け、懇談会を、戦争させない、戦争に行かない、高知憲法アクションに発展させました。高知県連東谷会長も呼びかけ人として参画し市民運動グループ、保守層も含めた結集を図ることができております。その後、国政選挙、知事選挙、県議選挙では憲法アクションが候補者推薦も行き、高知県連もアクションが推薦する候補者を支援してきました。連合は緩やかな共同への参加といったところでしょうか？少なくとも妨害するような状況ではありません。ただ解散総選挙において中道の候補者が立候補しましたが、憲法アクションの推薦には至りませんでした。今後の高知県連としての推薦の考え方も明確にしなければなりません。なぜ共同が進んでいるかを考えるとき、アクション発足当時の元自治労委員長と県労連委員長の存在の大きさがあげられます。護憲の統一戦線構築を目指し、ハードルの高い仕事を成し遂げたこと、あわせて共産党が強いという点も、相手側を譲歩させる材料になりえたと感じるところです。平和運動で発展している点として、原水協と原水禁の2020年以降の平和行進で互いにエールの交換、「核廃絶へ共に行動を」と共催で集会等も行っています。被爆者の会とも連携が図られた点も報告したいと思います。

10%読者回復にむけたラストスパート

<先週号でお伝えした以降>

19日(水)は拡大ゼロで、20日9時の時点での拡大到達が54であと10。しかし、拡大報告が入ってこず不安増大。

その後、仁淀川・上岡会長が2人、香美郡・山崎会長が1人、南国から森会長1人、山崎婦人部長1人、村田敦子副会長2人の拡大報告があり、残3人に。

21日に安芸・鈴木副会長、入江県連事務局長が各1人拡大し、残1人に。

その後、香美郡・濱田婦人部長1人、南国・片山副会長2人拡大し、**10%回復を超過達成！！**

全商連総会出発前に達成できて一安心。

みなさん、ご苦労様でした。

次は、この10%をどう維持していくかが課題です。

さっそく5月末購読中止が20数人の見込み。早くも大きな課題となっています。多くの会員の皆さんの参加・協力で10%を維持していきましょう。